

災害が発生した時はどのような活動をしているの？

火災対応(消火)

市内で火災が発生した場合は、火災を知らせる電子メールが消防団員に届きます。その後、自らが所属する分団の詰所に集まり、ポンプ車に乗車して火災現場に向かいます。

火災現場では、ポンプ車を水利近くに配置し、常備消防(消防署)と連携して、消火活動に取り組んでいます。



災害対応(水害など)

風水害などが発生した場合には、地域での避難誘導や警戒活動などさまざまな活動を行っています。

過去(平成27年9月に発生した関東東北豪雨災害時)には、地域の方への避難誘導や水没箇所への積み土のう、ポンプ車を用いた排水などの災害対応をしました。



消防団員



インタビュー

入団して変わった「消防団」のイメージ

「消防団」と聞くと身構えてしまう人もいないのでしょうか。私自身、最初はすぐに退団しようと思っていましたが、火災や水害などが起きた際に消防団として市民の命や財産を守ることができるところに大きなやりがいを感じ、入団して12年が経ちました。

消防団は、さまざまな年齢や職業の団員と同じ目標に向かって活動できる貴重な場です。大変なことはもちろんありますが、それには代えられないものが活動していくなかで感じられると思います。

時代は変わっても、残念ながら災害はなくなりません。市民の皆さんから頼られる存在として、結城市消防団と一緒に活動しましょう！



古山 貴平さん(入団歴12年)

所属 / 第6分団 分団長
職業 / 会社役員

普段できない経験だからこそ

以前から女性消防団に興味があり、子育てに区切りがついたタイミングで入団を決めました。

女性消防団は、火災現場の出動はなく、普及啓発活動を中心にを行っています。救命講習の指導員の資格を取り講師を行うなど、普段の生活では得られないような貴重な経験ができることにやりがいを感じます。

活動への参加は自分ができる範囲で大丈夫。家庭がある人も多いため、皆が気持ちよく活動できるよう、互いに助け合いながら活動しています。また、年齢の枠を超えた人とのつながりが生まれるのも、消防団の大きな魅力。この機会に、女性消防団について知っていただけばうれしいです。



小谷野 純江さん(入団歴11年)

所属 / 女性分団 団員
職業 / 会社員

時代に合わせた活動を行うために

時代に合わせた活動を行うためには、上に立たなければ変えられないと思い、現在分団長として活動しています。今までの経験から改善すべきところを洗い出し、よりよい分団活動ができるように試行錯誤の最中です。

小さい頃から育った地域に貢献できることが一番のやりがい。家族に迷惑をかけることもあります。地域の災害対応は消防署だけでは難しく、消防団がないとポンプ車の数が足りないのが現状です。この数を補い、「自分たちが住む地域の安全を守る」ために私たちは活動しています。

ポンプ車は1人では出動できません。一緒に活動する仲間がいるからこそできる活動です。大変ですがやりがいもある消防団、同じ地域に住む仲間と一緒に活動しませんか。



岩崎 義徳さん(入団歴10年)

所属 / 第7分団 分団長
職業 / 自営業

これから出水期! 家庭でできる防災チェック! CHECK

ハザードマップを確認しよう

自分の住む地域のハザードマップを確認し、避難経路や避難場所を把握しましょう。



避難経路を確認しよう

普段使う避難経路だけでなく、複数の避難経路を把握しましょう。



備蓄品を確認しよう

避難用の持ち出し袋の位置や、備蓄品の賞味期限などを確認しましょう。



家族で話し合おう

災害時の連絡方法、避難場所、避難経路などを家族で話し合い、共有しておきましょう。



ウェブ版洪水ハザードマップ



結城市ではウェブ版洪水ハザードマップを公開しています。詳しくは、結城市ホームページをご確認ください。



結城市消防団員 募集

応募条件 (入団条件) >>> 市内在住、勤務または通学している方

申込方法 >>> 市防災安全課へお問合せください。TEL 34-0411